



お知らせ

MMWIN事務局からのお知らせです

届出内容に変更はございませんか？

日頃よりMMWINをご利用いただきありがとうございます。人事異動等の多い時期となりました。MMWINの各種システム・サービスを円滑にご利用いただくため、職員のご異動等がある場合は、担当営業、または事務局までお早めにご連絡をお願いいたします。

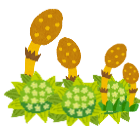
また、施設内のシステム変更等のご予定がある施設様におかれましても、お早めにご一報いただきますようお願い申し上げます。

職員登録の変更等

- 施設内情報管理者の変更
- 人事異動に伴う施設変更
- 退職に伴う利用登録中止
- 新規職員の利用登録 等

システムの変更等

- 利用台数の変更
- システムリプレイス
- オンライン資格の導入
- ネットワークの変更
- プロバイダの変更 等



返信用封筒の有効期限について

現在、加入申込書と一緒に患者様にお渡しいただいている事務局宛の返信用封筒（料金受取人払封筒）は、有効期限が**2023年6月30日**となっております。2023年6月より順次、新しい有効期限の封筒にお取替えいたしますので、今しばらくお待ち下さい。

なお、2023年6月30日期限の返信用封筒は、**有効期限が過ぎてもそのままご利用**いただけます。ご利用の際には切手を貼らずに、そのままポストに投函していただくようご案内下さい。

一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会
〒980-0811 仙台市青葉区一番町1 丁目15 番19 号
【事務局】

TEL : 022-395-6312 FAX : 022-395-6313
E-mail : office@mmwin.or.jp URL : http://mmwin.or.jp/

【サポートセンター】

TEL : 022-399-6880 E-mail : support@mmwin.or.jp

当協議会からのメールを受信できない場合がございますので、「@mmwin.or.jp」からのメールを受信できるように設定してください。
『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。
※本誌の収録内容の無断転載、複写、引用、改変等を禁じます。



©2023 MMWIN

全医療・介護・福祉分野・職種が想いをひとつに「オールみやぎ体制」でみやぎをつなぎます



MMWIN® 通信
みんなのみやぎネット® NEWS

2023
3.24
vol. 72

発行：みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

再始動!! みやぎ脳卒中地域連携パス

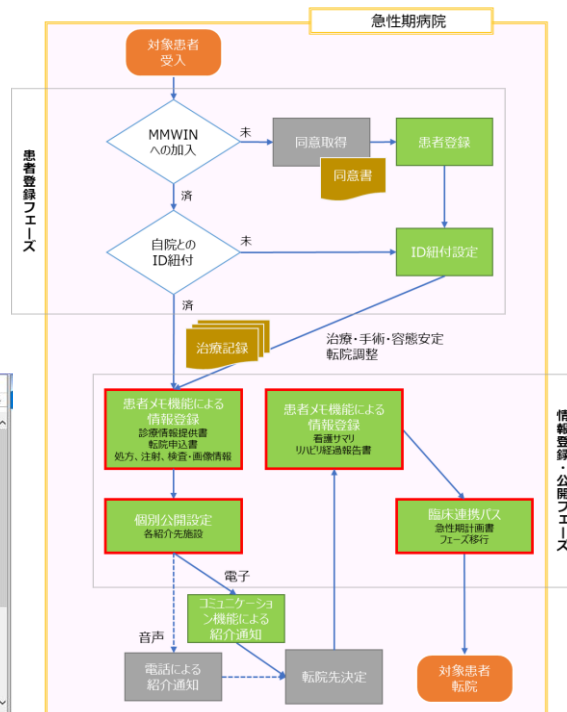
2022年4月、宮城県循環器病対策推進計画が策定されました。当協議会は脳卒中地域連携パスワーキングメンバーのご指導を受け、同パスの展開範囲を生活期まで拡大するとともに、これまでのみやぎ脳卒中地域連携パスシステムで課題となっていた入力作業の業務負担が軽減できるよう、機能の改修をいたしました。また、それに伴い、急性期、回復期、生活期の各フェーズにおける運用の見直しを行いました。この変更により、急性期から回復期、回復期から生活期へと患者さんの個人情報により安全に連携でき、個人情報の漏洩リスクの大幅な低減に貢献いたします。当然ながら、対象となる患者さんのこれらのパス記録は、他科受診時や保険薬局、介護施設においても共有することができ、患者さんご自身の安心にもつながります。

急性期病院においてMMWINを介し、みやぎ脳卒中地域連携パスを利用し回復期病院へ転院照会するためのフローは右下のとおりです。全体として、対象患者をMMWINに登録するためのフェーズと転院照会に必要な情報を登録するフェーズの2つに分けることができます。今回のシステム改修では、後者の見直しを実施いたしました。

転院照会にあたり、必要となる帳票は転院申込書の他、処方、注射、検体検査、画像情報、看護サマリ、リハビリ経過報告書、さらに急性期病院であれば急性期計画書が必要となります。これらが従来のバックアップデータとして、各施設の電子カルテから自動でアップロードをされていればさらに話は早いのですが、実際そのような施設は多くありません。そのため、足りない帳票データは「メモ機能」や「臨床連携パスシステム」を利用し補完することとなります。

臨床連携パスシステムでは、地域連携診療計画書を作成することができます。これらの帳票を作成する際、多くの入力項目を選択式に変更し（下図）、入力作業の負担軽減を実現しています。

既にいくつかの急性期病院、回復期病院間で実運用が開始されています。2023年4月以降、関連医療機関、および介護施設に順次展開してまいります。



透析連携のためのMMWIN活用Web講座を開催いたしました

2023年3月7日（火）、8回目となります「透析連携のためのMMWIN活用Web講座」を、アステラス製薬株式会社様の共催の下に開催いたしました。座長は宮崎 真理子先生、講演はJCHO仙台病院様からお二人の演者をお招きしまして、システム目線、現場目線の両面でお話いただきました。

プログラム

【座 長】 宮崎 真理子 先生
(東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科 准教授)

【講演1】 「MMWINの再接続について」
服部 有一郎 様
(JCHO仙台病院 医療情報システム管理室)

【講演2】 「MMWIN透析連携について」
大野 和美 様
(JCHO仙台病院 看護師長)

【質疑応答】

本セミナーの開催にあたっては、JCHO仙台病院 多目的ホールに特設会場をご用意いただき、院内の多くの皆さまもご参加くださいました。

講演では、服部様よりMMWINの一時停止から再接続に至る経緯についてお話をいただきました。また、大野様からはFAXや電話を中心とした従来の患者紹介・逆紹介の施設間のやりとりについて、MMWINに置き換えた場合どのような運用が想定されるかについてお話をいただきました。

最後の質疑応答では、救急患者の透析治療にあたりどのように透析基礎情報等を収集するのか、そのような場面においてMMWINがどう利用できるのかといったお話もありました。23施設 56名以上の皆さま、お忙しいところご参加くださり誠にありがとうございました。

病院の移転等も重なり、一時的にMMWINを介し関連施設への情報開示が難しい状況となっているJCHO仙台病院様ですが、講演の中で2023年4月中にも再稼働できる見込みということでした。今回のセミナーも1つのきっかけとし、透析連携において宮城県の基幹であるJCHO仙台病院様、ならびに関連する医療機関様の利活用促進に改めて努めてまいります。



当日の様子



病 薬 連 携

活 用 紹 介

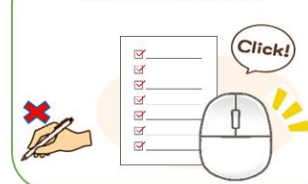
MMWINを活用した 吸入指導依頼票の授受



アイン薬局 築館店

保険薬局から医療機関への情報提供では、吸入薬指導の依頼書を医療機関が発行し、保険薬局にて薬剤師が吸入実技指導を行った際、一般的にFaxが用いられています。今回、2022年10月に栗原中央病院で運用が始まりました吸入指導結果授受のDX化についてご紹介いたします。

①吸入指導依頼票の最適化



②コミュニケーション機能で送受信



③指導結果の集積や抽出



最初に取り組んだのは吸入指導依頼票の最適化(①)です。従来の依頼票は紙で起票され、集計は手作業で行なわれていましたが、Excelファイルに置き換えることで、指導結果がデータベース化されました。それをMMWINのコミュニケーション機能(②)でExcelファイルのまま授受することにより、医療機関側での指導結果の集積や抽出(③)を実現しています。

保険薬局として最初に運用を始められたアイン薬局 築館店 管理薬剤師 伊地智 隆之様に、この取り組みについて話を伺いました。

現在、月に30件程度の実績があります。最初は少し手間が増えたり、操作が難しかったりするのかもしれませんが、他のスタッフも含め、すぐ慣れて気にならなくなりました。逆に、従来の方法ではファイリングした過去の指導結果を後日見返すのはかなりの手間だったのですが、今回の運用変更により紙のようにかさばることもなく、さらに日付ごとにフォルダ管理しているので、前回の送信日も確認しやすくなりました。

また、わずかなことかもしれませんが、印刷代やFax送信費もかからなくなりました。この運用は患者さんがMMWINに加入していなくても可能ですが、加入していればさらに栗原中央病院で受けた検査のデータを参照できるので助かります。

これまで患者さんにお話を聞いてもよく分からない時や、ご家族がお薬を取りに来た際に診療内容が不明だった場合、適正な服薬指導が難しく、病院に問い合わせたりすることもありました。MMWIN上でこれらを確認できれば、お薬の処方目的を正確に把握し、それに合わせた服薬指導ができます。MMWINを介した双方の業務負担軽減が、これからさらに広がっていけば良いと思います。



伊地智 隆之様